

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

岩手県 葛巻町

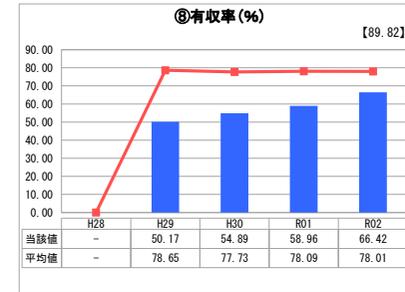
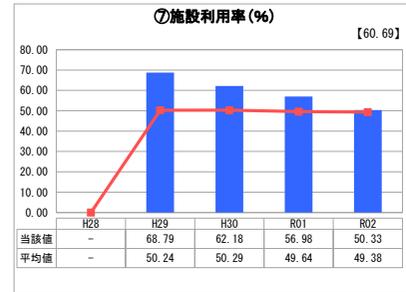
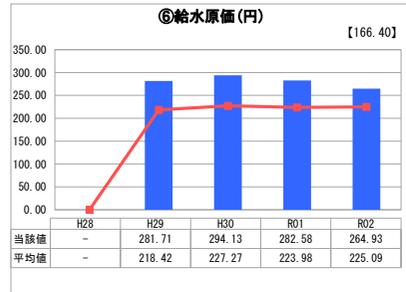
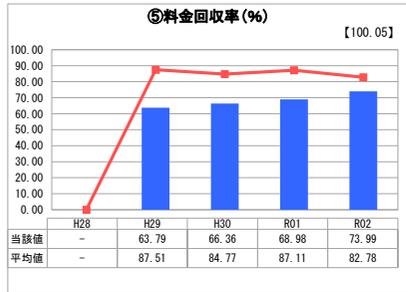
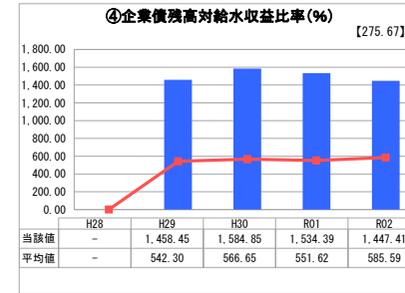
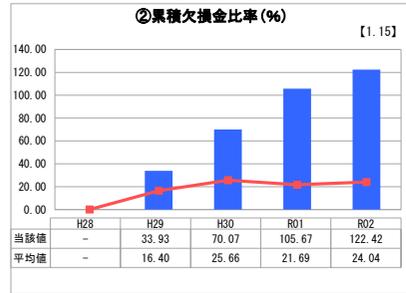
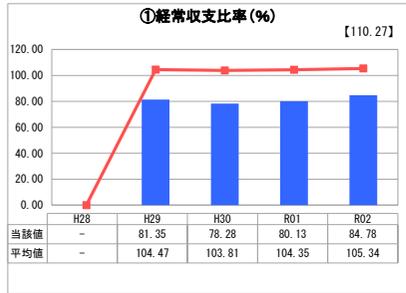
| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分                         | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用       | 水道事業        | 末端給水事業 | A8                             | 非設置    |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |        |
| -         | 47.80       | 94.19  | 3,430                          |        |

| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 5,874     | 434.96                   | 13.50                      |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 5,480     | 34.37                    | 159.44                     |

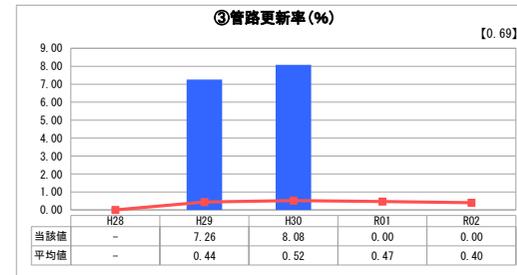
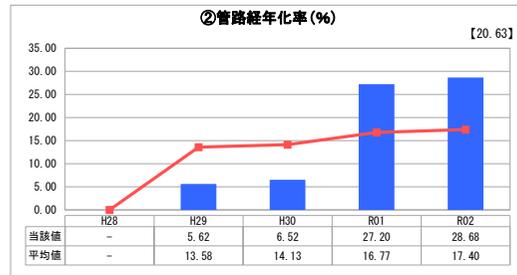
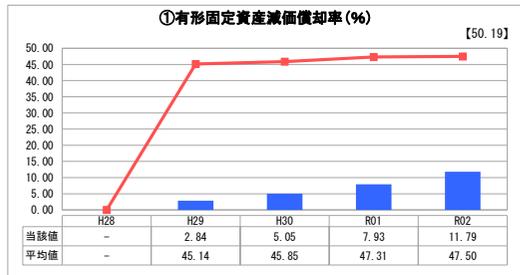
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当町の水道事業は集落が広く点在しており、給水区域の範囲も広い。また人口規模に対する施設数が多く管路延長も長距離であることから施設維持管理費、減価償却費の支出割合が高くなっており、経常収支の圧迫及び累積欠損比率を悪化させる要因となっている。

近年、人口減少とともに水道利用者が減ることに伴い給水収益の減少、また平成25年度から令和元年度に実施した「江刈地区水道整備事業」の財源である企業債の借入に伴い、企業債残高及び償還額が増加したことで流動比率は減少傾向、企業債残高対給水収益比率は平均値より高い数値となっている。

給水収益が減少傾向であることから、収支均衡を保つために経常費用の削減・抑制を行っており、料金回収率及び給水原価が若干ではあるが改善傾向となっている。また、日々の漏水調査及び「江刈地区水道整備事業」の実施したことにより有収率も改善傾向となっている。

人口減少に伴う水道利用者の減少により施設利用率も減少傾向であることから、現状に見合った適正な施設規模を検討していく必要がある。

今後、令和2年度に策定した「葛巻町水道ビジョン」を基に経営の健全化を図りながら計画的な管路の更新、適正な料金設定に向けて進めていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

当町の水道事業は旧簡易水道が7施設、旧飲料水供給施設が5施設の計12施設で構成されており、平成25年度から令和元年度に整備を行った江刈地区を除き多くの施設や管路で老朽化が著しく進行している。また漏水箇所不特定な慢性的な漏水が多くみられており、計画的な施設や管路の更新及び更新工事に伴う財源の確保が今後の課題となっている。

## 全体総括

令和2年度においては、水道事業の基盤強化に関する取り組みを一層推進していくため、町の水道事業の将来像を示した「葛巻町水道ビジョン」を策定し、中長期的な視点で安全・強靱な水道を持続していく基本方針の明確化を図った。今後、人口減少に伴う給水収益の減少、企業債償還のピーク、老朽化施設・管路の早急な更新といった課題を「葛巻町水道ビジョン」を基に水道事業経営の健全化、計画的な施設整備を図りながら、持続可能な事業経営を推進していきたい。